

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 令和3年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
1. 事業名:	Web サービスを活用した通いの場や介護予防教室等におけるオーラルフレイルに対する予防事業
2. 申請者名:	小向井 英記、平山 隆浩、溝上 裕久、岡田 貴文、有山 公介、清水 佑一、竹川 剛典、福岡 哲郎、吉田 賢慈、米田 彩、田・匡恵
3. 実施組織:	一般社団法人奈良県歯科医師会 高齢者歯科保健委員会
4. 事業の概要:	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施では、地域介護予防活動支援事業で市町村が支援する通いの場への医療専門職の介入による疾病化予防、生活機能の改善が期待されている。また、ほぼ全ての市町村では介護予防普及啓発事業が展開されており、介護予防教室等が開催されている。歯科専門職としても通いの場や介護予防教室にも積極的に関与し、個別的支援に繋ぐ必要がある。その事業の内容にはフレイル予防の普及啓発活動や健康教育・健康相談も含まれており、歯科としてはオーラルフレイル予防をテーマとして取り組んでいく必要がある。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、通いの場や介護予防教室への関与が制限されている現状がある。当事業ではそのような現状に対して Web サービスを活用することによって、歯科医療職が多くの場所でオーラルフレイル予防事業を展開することを促し、今後は歯科医療職が直接関わらなくても現場でオーラルフレイル予防のプログラムが実践できるシステム作りを目的とした。</p>
5. 事業の内容:	<p>対象は、奈良県内における通いの場や介護予防教室 10 箇所の参加者 100 名程度としていたが、新型コロナウイルス感染症第 6 波の影響による中止もあり、開催場所は 6 箇所の参加者 76 名となった。当該箇所に集った参加者には Web 会議システムを用いて、歯科医師会館と現場をオンラインでつなぎ、リモートによるオーラルフレイル予防のための介護予防プログラムを「やるシカないオーラルフレイル予防・健康体操研修会」として実施した。</p> <p>当日のプログラムの内容としては、まず講師の自己紹介の後、当会と奈良県歯科衛生士会とで今回の事業で共同開発したオーラルフレイル予防・健口体操の YouTube 動画を参加者に視聴してもらいながら体操を行ってもらった。また体操の際には現場に派遣した歯科衛生士 2 名により同体操の実地指導と解説を行う。次に歯科医師 1 名による総評に加えて、当日のプログラムについての感想と当会で考案した問診票 (OFAT-10: オーラルフレイルアセスメントツール) を含んだ通いの場・介護予防教室調査票、既存のオーラルフレイルスクリーニング問診票、既存の高齢者の健康質問調査票 (基本チェックリスト) に記入してもらい、質疑応答後、プログラムを終了する。</p> <p>各票の回答結果については集計、分析を行い、当事業の参加者の妥当性、当会で考案した OFAT-10 の妥当性、信頼性についてなどを検証した。また、今回アップロードする YouTube 動画については 6 パターン作成して、当会公式健口体操チャンネルとして開設し、今後介護予防の現場や居宅で広く活用できるようにした。</p>
6. 実施後の評価 (今後の課題):	<p>今回、コロナ禍の情勢下で第 6 波が到来し、まさにリモートによりオーラルフレイル予防のための介護予防プログラムを実施するという当事業の有効性を試す機会を得ることができたが、通いの場や介護予防教室自体が中止となったケースもあり、事業縮小を余儀なくされる結果となった。これより、当事業は 3 密となる会場参加型の対象者の場合にはやはり制限がかかることが明らかとなった。しかしながら、実施できた施設では、リモートで Web 配信されている画像に、現場で歯科衛生士が実地指導をすることによって参加者の理解度とモチベーションが高まり、オーラルフレイル予防の啓発効果も高まるものと考えられた。</p> <p>また、更なるオーラルフレイル啓発効果を期待するならば、今回の事業で制作し、活用した YouTube 動画による健口体操は大変有効であり、いつ、どこにいても、誰でも、予防の目的によって使い分けながら実践することができる。今後は、奈良県のみならず全国に向けて、積極的に情報発信し、介護予防による国民の健康寿命の延伸に寄与することができればと考えている。</p>